

### 3 宮城県大豆優良品種特性表

種	早晩類	品種名	来歴 (育成場所, 育成年次)	採用年次	奨励品種区分	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	*生熟型	主茎長 (cm)	分枝数 (本)	主茎節数 (節)	*葉形	*伸育型	*毛茸の有無及び色	*花の色	*熟莢の色	*裂莢性	子実							病害抵抗性			密植適応性	晩播適応性	特性概要	栽培適地		
																		百粒重 (g)	*形状	*種皮色	*臍色	10a当たり収量 (kg)	粗たんぱく質 (%)	粗脂肪 (%)	全糖 (%)	*外観品質	*ウイルス病					*立枯病害	*紫斑病
大豆	早生	すずほのか <sup>注2</sup>	刈交778F5×コスズ (東北農研, 平19)	平20	特定	8.08	10.12	中間型	60	4.2	15.2	三角形	有限	白	紫	淡	中	9.2	球	黄白	黄	307	45.1	17.6	22.3	中の上	強	やや強	強	大	大	茎長は短茎。分枝数多く、着莢数も多い。耐倒伏性は強。密植適応性並びに晩播適応性高い。ウイルス病抵抗性強。紫斑病抵抗性強。ダイズシストセンチュウ抵抗性弱。極小粒で品質良。納豆加工適性良好。	山間高冷地を除く 県下一円
大豆	中生	タンレイ	農林2号×東山6号(シロメユタカ) (長野県中信農試, 昭53)	昭53	基幹	7.31	10.25	中間型	77	4.4	15.3	円	有限	白	紫	褐	中	33.3	楕円	黄	黄	358	45.3	19.4	21.5	中の上	中	強	注6 やや弱	大	大	茎長は中茎。主茎節数、分枝数やや少ない。繁茂量多いが耐倒伏性は極強。多肥条件は早播に適し、密植適応性並びに晩播適応性大。立枯性病害抵抗性強。紫斑病の発生多い。ダイズシストセンチュウ抵抗性弱。中粒で粒揃い良く品質良。	山間高冷地を除く 県下一円
大豆	中生	あやこがね <sup>注3</sup>	東山124号(ホウレイ)×エンレイ (長野県中信農試, 平11)	平11	基幹	7.27	10.21	中間型	91	4.3	16.5	円	有限	白	紫	褐	中	35.1	球	黄	黄	351	45.3	19.4	21.7	中の上	強	中	中	中	大	茎長は中茎。主茎節数・分枝数ともやや少ない。耐倒伏性は強。晩播適応性が高い。ウイルス病抵抗性強。ダイズシストセンチュウ抵抗性弱。立枯性病害抵抗性・紫斑病抵抗性中。やや大粒で品質良。豆腐・味噌加工に適する。	山間高冷地を除く 県下一円
大豆	中の晩	タチナガハ	東山61号×東山系G627 (長野県中信農試, 昭61)	平8	特定	7.31	11.02	中間型	81	5.1	15.7	長く中間	有限	白	紫	褐	中	38.6	楕円	黄	黄	401	43.2	20.2	22.0	中の上	中	中	強	中	中	茎長は中茎。分枝数やや少ない。ウイルス病抵抗性中だがウイルスの系統によっては抵抗性がない。ダイズシストセンチュウ抵抗性弱。立枯病害抵抗性中。紫斑病抵抗性強。やや大粒で品質良。	山間高冷地を除く 県下一円
大豆	中の晩	きぬさやか <sup>注4</sup>	刈系508号×刈交0459F1 (東北農研, 平17)	平18	特定	7.25	10.16	中間型	76	4.9	15.2	円	有限	白	白	中	中	28.5	球	黄白	黄	391	43.4	19.3	23.2	中の上	強	やや強	やや強	中	中	茎長は中茎。分枝数中程度。耐倒伏性は強。ウイルス病抵抗性強。ダイズシストセンチュウ抵抗性弱。立枯病害抵抗性、紫斑病抵抗性ともにやや強。中粒で品質良。青臭みの原因であるリボキシゲナーゼとグルーパAアセチルサポニンを欠失しており、豆乳・豆腐加工に適する。	山間高冷地を除く 県下一円
大豆	中の晩	すずみのり	東山199号(タマホレ)×東山系X985(東山212号) (長野県中信農試, 平11)	合4	特定	7.31	10.30	中間型	85	4.5	15.8	三角形	有限	白	紫	褐	難	37.2	偏球	黄	黄	423	45.4	19.4	21.4	中の上	A E	中	強	—	—	茎長は中茎。分枝数やや少ない。ウイルス病はA～Eの5系統に抵抗性。ダイズシストセンチュウ抵抗性弱。立枯病害抵抗性中。紫斑病抵抗性強。やや大粒で品質良。密植適応性や晩播適応性については、優良品種試験の結果から収量性は「タチナガハ」に劣る。	山間高冷地を除く 県下一円
大豆	晩生	ミヤギシロメ	岩沼在来種の系統分離 (宮城農試, 昭36)	昭36	基幹	8.04	11.08	中間型	104	5.5	16.5	円	有限	白	紫	淡褐	中	44.1	やや楕円	黄白	黄	400	43.9	18.7	23.7	中の上	中	弱	強	小	小	茎長は長茎。初期生育旺盛、分枝数やや少ないが開張性、本葉大きく受光体勢不良で蔓化・倒伏しやすい。紫斑病抵抗性強。立枯性病害・ダイズシストセンチュウ抵抗性弱。極大粒で品質良。	県下平坦地帯

注1) 特性表のデータは、過去5か年(平成29～令和3年)の優良(奨励)品種決定調査結果の平均値。

注2) 「\*」印を付した項目は「すずみのり」以外は「だいがく種苗特性分類」(農林水産省)、「すずみのり」は「ダイズ類特性調査マニュアル」(農研機構種苗管理センター)の表記に基づく。品種採用時の項目・表記方法を用いているため、採用年次により項目が無くなったり、同一特性でも表記が変わった場合がある。

注3) 「すずほのか」は、平成16～19年(6月下旬播きの晩播栽培)のデータ。

注4) 「あやこがね」は、平成25～29年のデータ。

注5) 「きぬさやか」は、平成27年のみのデータ。

注6) 「タンレイ」の紫斑病抵抗性は「だいがく種苗特性分類」(農林水産省)では「中」だが、県内発病程度を考慮し「やや弱」としている。